

報告事項1 前回会議の補足

1 各計画等による人口推計値と施設規模の試算について

【人口推計値】

計画の目標年度が平成39年度(2027年度)のため、稼動年に近い年度を平成39年度推計人口としました。
なお、市町村の策定するごみ処理基本計画については、平成39年度よりも以前の年度を目標に設定していることから、今回の試算から除外しました。

各 計 画 等	稼動年に近い 目標年度	平成39年度推計 (2027年度)(人)		備 考
総合計画	平成30年度 ～平成37年度	13市町村	19市町村	
		308,153	340,401	
人口ビジョン	平成37年度	13市町村	19市町村	
		297,623	330,142	
参考:国立社会保障・人口問題研究所(社人研)	平成37年度	13市町村	19市町村	平成27年国勢調査ベース
		294,716	325,611	
参考:組合試算	平成37年度	13市町村	19市町村	9市町村以外は人口増減率を乗して算出
		295,442	327,724	

■ 推計人口値の取扱い

総合計画は、大半が平成30年度から32年度を目標としたものです。

平成39年度の目標値にスライドさせた値(19市町村:340,401人と平成29年末の19市町村:341,084人)を比較すると0.2%の減少となり、現在の人口動態(毎年2,000人程度(0.05%)が減少)からは、かけ離れています。
人口ビジョンは、平成37年度を目標としているため、今回の試算ではこの推計値(13市町村:297,623人19市町村:330,142人)を用いることとします。

【原単位】

くりりんセンターにおける原単位(1人1日あたりの排出量)は次のとおりです。

年 度	1人1日あたりのごみ排出量(g)		※肉骨粉(5,500t/年)を除いて算出
	焼却処理施設(※)	破砕処理施設	
平成25年度	653.56	117.02	
平成26年度	644.76	104.78	
平成27年度	645.03	107.99	
平成28年度	651.94	109.52	
平成29年度	654.23	110.10	
5か年の平均値	651.90	109.88	

■ 原単位の取扱い

人口ビジョンの推計人口(19市町村:330,142人)とくりりんセンターの直近5か年の原単位の平均値(651.90g/日)をもとに年間の廃棄物処理量の試算値(78,555t/年)は平成28年度に構成市町村から聴取した数値(70,279t/年)との比較で約10%(総量で△10.6%、肉骨粉を別にした場合で△17.0%)過大となっています。
また、多くの自治体では、地域計画において、現状から5～10%の削減目標を設定しています。
こうした状況を総合的に勘案し、今回の試算では、くりりんセンターの直近5か年の平均値に△5～10%を掛けた値を用いることとします。

【△5%の場合】

・焼却施設 651.90g/日 × 0.95 = 619.31g/日 ・破砕処理施設 109.88g/日 × 0.95 = 104.39g/日

【△10%の場合】

・焼却施設 651.90g/日 × 0.90 = 586.71g/日 ・破砕処理施設 109.88g/日 × 0.90 = 98.89g/日

【施設規模の試算方法】

各施設の規模については、以下のとおり試算します。

■焼却処理施設 (年間排出量^{※1} ÷ 365日) ÷ (稼働日数280日 ÷ 365日) ÷ 96%^{※2}

■大型・不燃ごみ処理施設 年間排出量 ÷ 稼働日数250日

■メタン発酵施設 焼却処理施設 × 20%^{※3}

※1 年間排出量 = 1人1日あたりの排出量 × 人口 × 365日 + 肉骨粉(5,500t)

※2 稼働調整率96%は、正常に運転される予定の日でも故障の修理、一時休止等のために処理能力が低下することを考慮した係数です。

※3 他施設の事例を参考に設定したものです。

【試算結果】

(t/日)

	現状と同様に肉骨粉を処理する場合		肉骨粉(5,500t)処理しない場合	
	13市町村	19市町村	13市町村	19市町村
焼却施設	260~270	280~300	240~250	260~280
破砕処理施設	40~50	50	40~50	50
メタン発酵施設	50	60	50	50~60

上記施設規模は10t未満の値を四捨五入したものです。

■災害廃棄物について

【災害廃棄物処理計画策定状況】

市町村名	策定済	策定作業中	未着手
帯広市		○	
音更町			○
芽室町		○	
中札内村			○
更別村			○
幕別町			○
池田町			○
豊頃町			○
浦幌町			○
清水町			○
本別町		○	
足寄町		○	
陸別町		○	

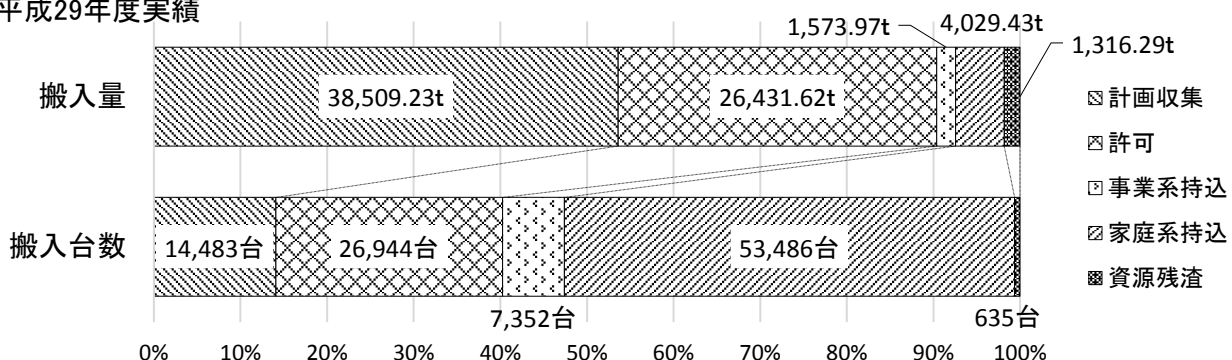
平成31年度から共同処理に加入予定

■下水汚泥の混焼について

構成市町村からの要望がないことから、次回検討会議で確認の上、処理対象から除外します。

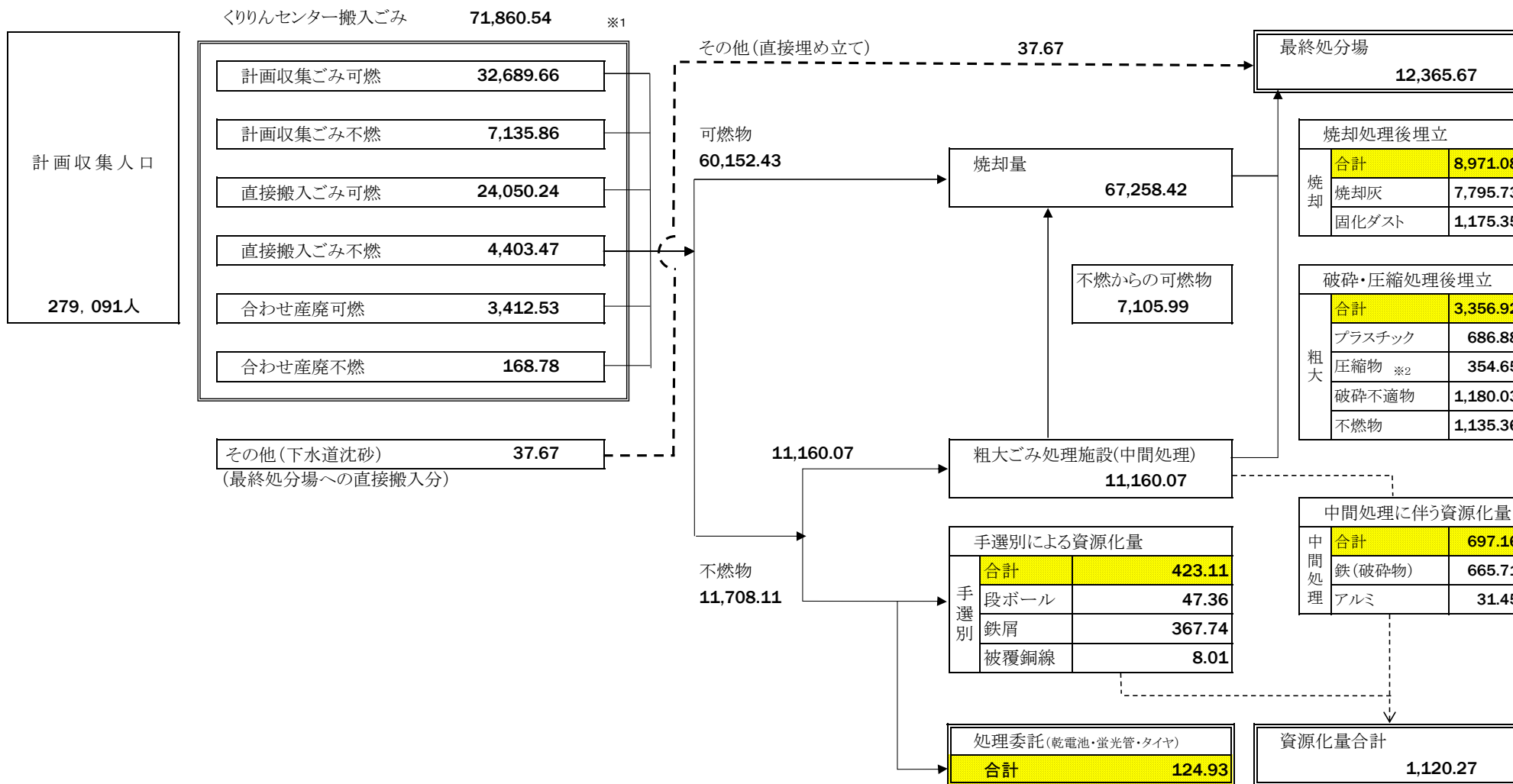
2 搬入の構成比(台数・搬入量)

平成29年度実績



平成29年度くりりんセンターごみ処理フローシート

ごみ量等(単位:t)



※1 資源ごみ中間処理施設からの残渣を含む。

※2 圧縮物の構成比は、じゅうたん(4割)、スプリング入ベッドマット(2割)、マットレス(2割)、シート類(1割)、その他かばん類(1割)。

有識者会議(H30.8.17)での意見(要旨)

焼却残渣の処理(資源化)を設定の上、中間処理とセットで比較評価すべき。



今後の進め方

焼却残渣の処理(資源化)の概要や課題などについて、共通認識に立ち、焼却残渣の処理と中間処理などと総合的に比較検討を行う。

【住民】	【構成市町村】	【組合案】			
分別・排出	収集・運搬	中間処理	焼却残渣の資源化	最終処分 (焼却残渣の資源化などの課題)	
		ストーカ式	<ul style="list-style-type: none"> なし(焼却灰、飛灰) エコセメント化(焼却灰、飛灰) 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立 埋立の減量 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分場の確保 供給先の確保
		流動床式	<ul style="list-style-type: none"> なし(不燃物、飛灰) エコセメント化(飛灰) 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立 埋立の減量 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分場の確保 供給先の確保
		ガス化溶融 (シャフト炉式)	<ul style="list-style-type: none"> なし(スラグ、メタル、溶融飛灰) 土木資材(スラグ、メタル) 肥料(スラグ) エコセメント化(溶融飛灰) 山元還元(溶融飛灰) 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立 埋立の減量 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分場の確保 供給先の確保
		ガス化溶融 (流動床式)	<ul style="list-style-type: none"> なし(スラグ、不燃物) 土木資材(スラグ) リサイクル(金属) エコセメント化(溶融飛灰) 山元還元(溶融飛灰) 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立 埋立の減量 	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分場の確保 供給先の確保
		コンバインド方式 (焼却+メタン発酵式)	上記の中間処理方式と同じ	上記の中間処理方式と同じ	上記の中間処理方式と同じ